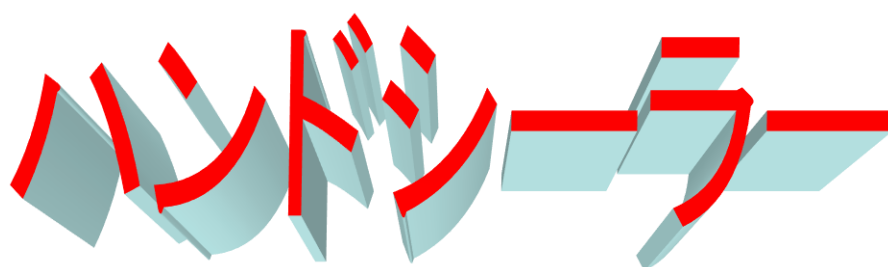


【ご使用前に必ず一読願います】

取扱説明書



HY-バリア用
H型・P型



初版 2017年4月1日
改訂 2018年5月1日

はじめに

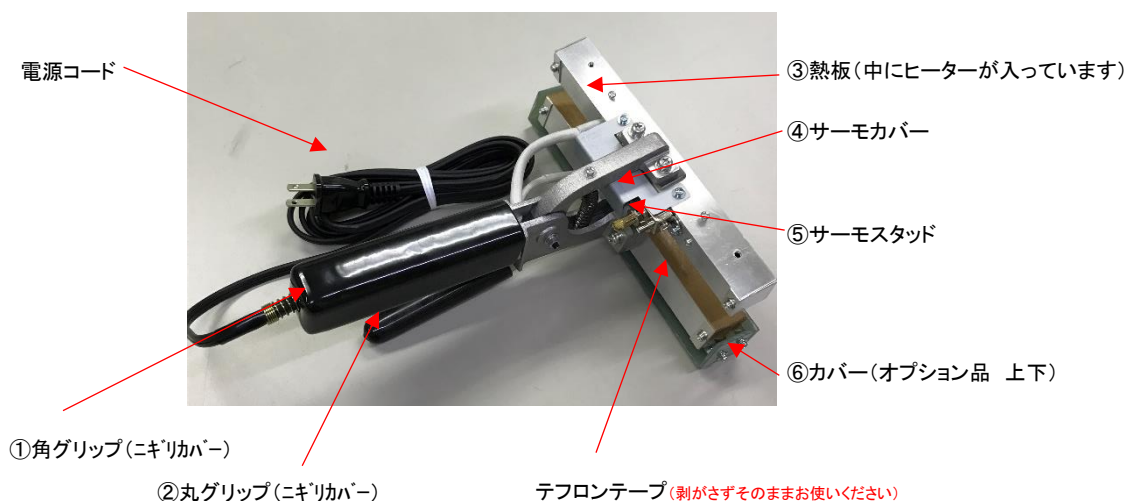
このたびは、(株)タマキのハンドシーラーをご採用下さいまして、誠に有り難うございます。
本機は、使い易さを第一に考慮されておりますが、
末長く優れた性能を充分に発揮させ維持していただくため
この説明書をよくお読みいただき、内容を正しくご理解いただいた上で
お取扱いと保守を適切に行いますようお願いいたします。

※ 高温部がありますので、火傷にはご注意ください。

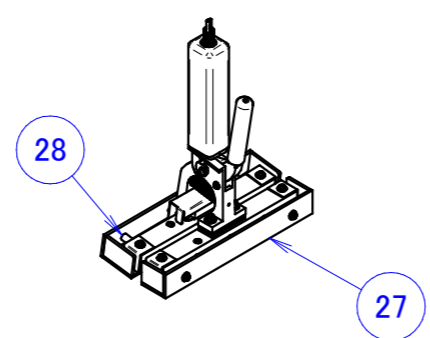
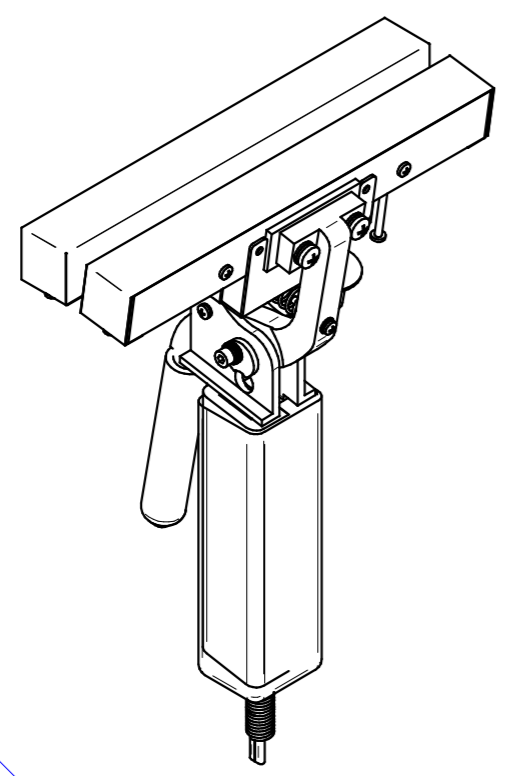
目次

1. 各部名称
外観図(標準品)
A001バリヤ用H型・A003バリヤ用P型
2. 温度設定
3. 使用方法
4. 補修
5. 注意事項
6. 保証書

1. 各部名称



**③～⑥高温になりますので火傷にはご注意ください。
直接触ったりしないでください。**

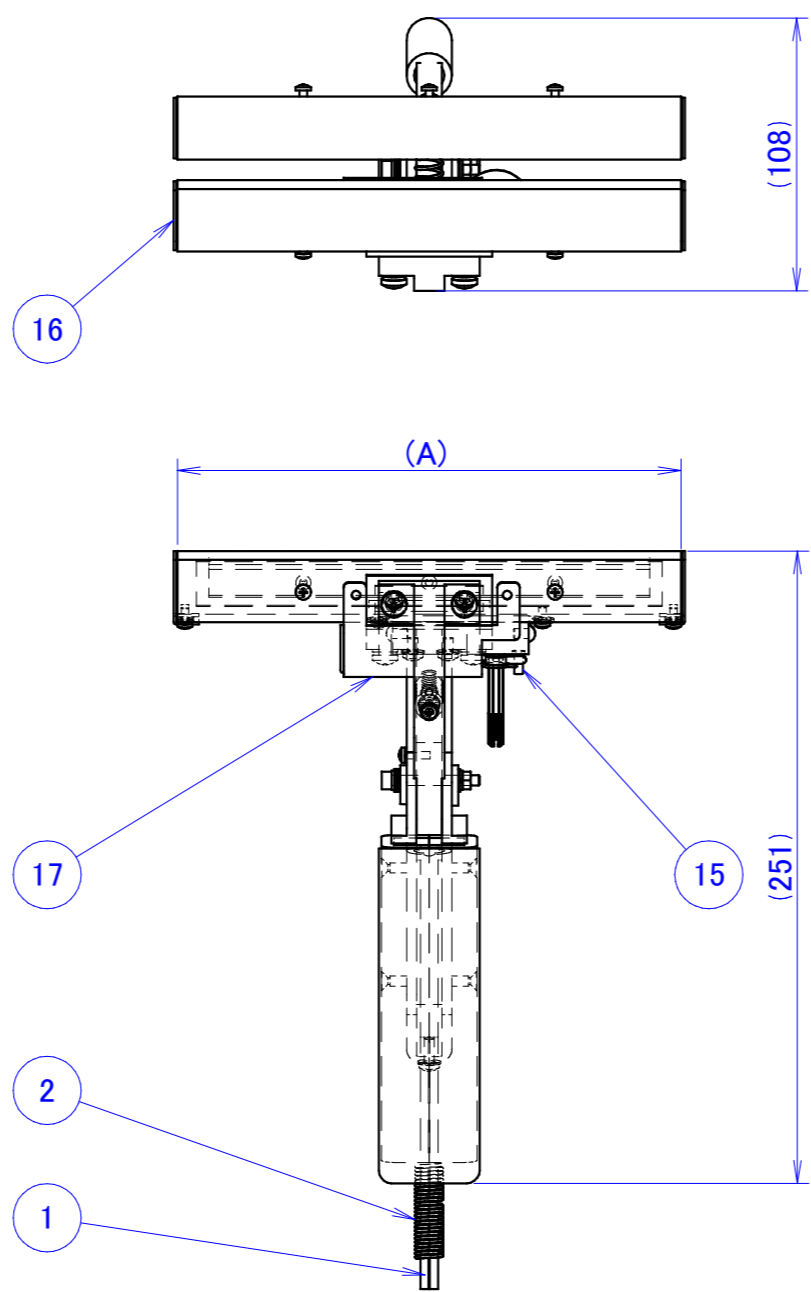
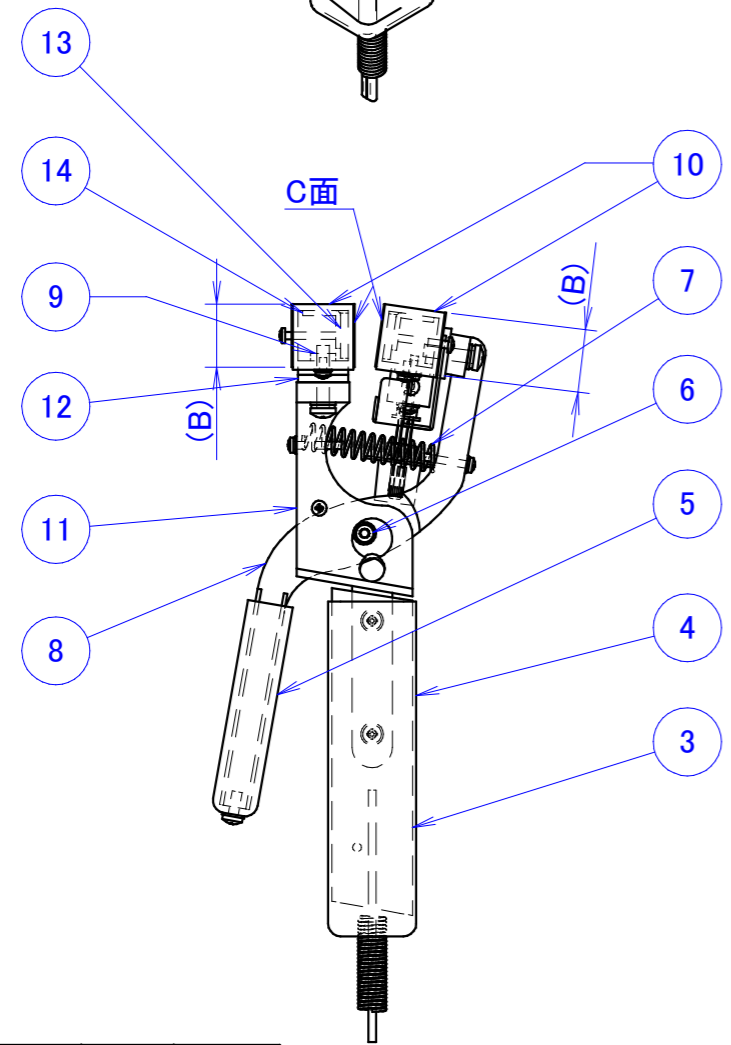


型式選定

HY - B H ① ② ③ ④ ⑤

例)HY-BH1111C
 熱板長さ : 150mm
 熱板巾 : 25mm
 シール面 : 平目
 電源ケーブル : 2x2HHFF3mP(コマ入)2芯プラグ
 カバー : 有

	① 熱板長さ A寸法	② 熱板巾 B寸法	③ シール面 C面	④ 電源ケーブル 部品1	⑤ カバー 部品27
1	150mm	25mm	平目	2x2HHFF3mP(コマ入) 2芯プラグ	有 C
2	200mm	15mm	横目	2PNCT0.75mm2(2芯) プラグ2P	無 記載無
3	250mm	—	軽量	2PNCT0.75mm2(3芯) プラグ3P	
4	300mm	—	—	—	



項番	部品名	材質	数量
28	スペーサー(カバー)	SPCC	4
27	カバー	ガラスエポキシ	2
17	サーモスタッドカバー	SUS304	1
16	サイドカバー	アルミニウム	4
15	サーモスタッド		1
14	ヒーター押さえ	アルミニウム	2
13	ヒーター		2
12	断熱板	ケイ酸系バインダ	2
11	フレーム	アルミニウム	1
10	熱板(上)(下)	アルミニウム	2
9	板ナット	SPC	2
8	アーム	アルミニウム	1
7	開閉(圧縮)スプリング		1
6	ヒンジピン	SUS	1
5	丸グリップ(ニギリカバー)	軟質塩化ビニール	1
4	角グリップ(ニギリカバー)	軟質塩化ビニール	1
3	木製ニギリ	木材	2
2	コード(保護)スプリング		1
1	電源コード		1

記号 MARK	記事 DESCRIPTIONS	担当 DESIGN	年月日 DATE	図 曆
	訂正	REVISION		

普通公差 mm	0.5~6	6~30	30~120	120~315	315~1000	1000~2000
	±0.1	±0.2	±0.3	±0.5	±0.8	±1.2

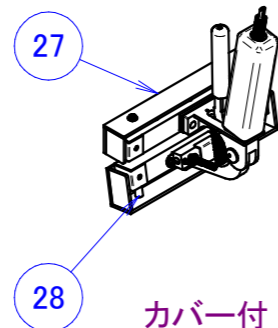
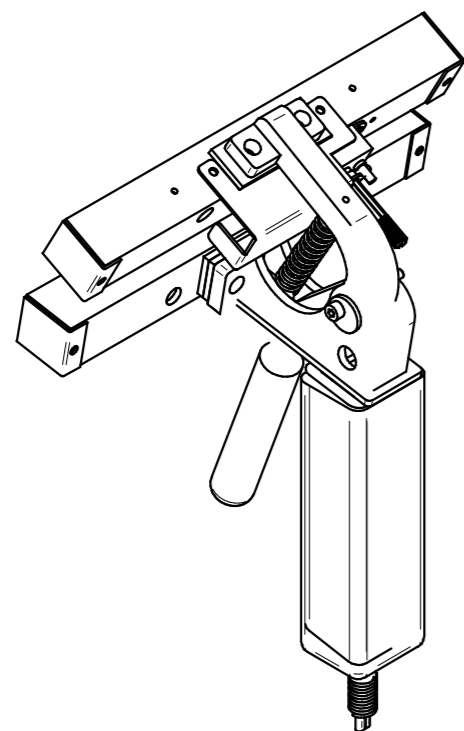
1	ハンドシーラー組立図		1		
項番	名称	材質	個数	質量 kg/個	素材寸法
尺度	1:3	承認	確認	担当	工号
SCALE	APPROVED	CHECKED	DESIGNED	JOB No.	HY-3HT型バリヤ用
三角法			オノ	名称	ハンドシーラー組立図
			2017/03/22	NAME	
単位	mm	株式会社 ㊦㊧㊨		図番	1600-A001
UNIT				DEG No.	

型式選定

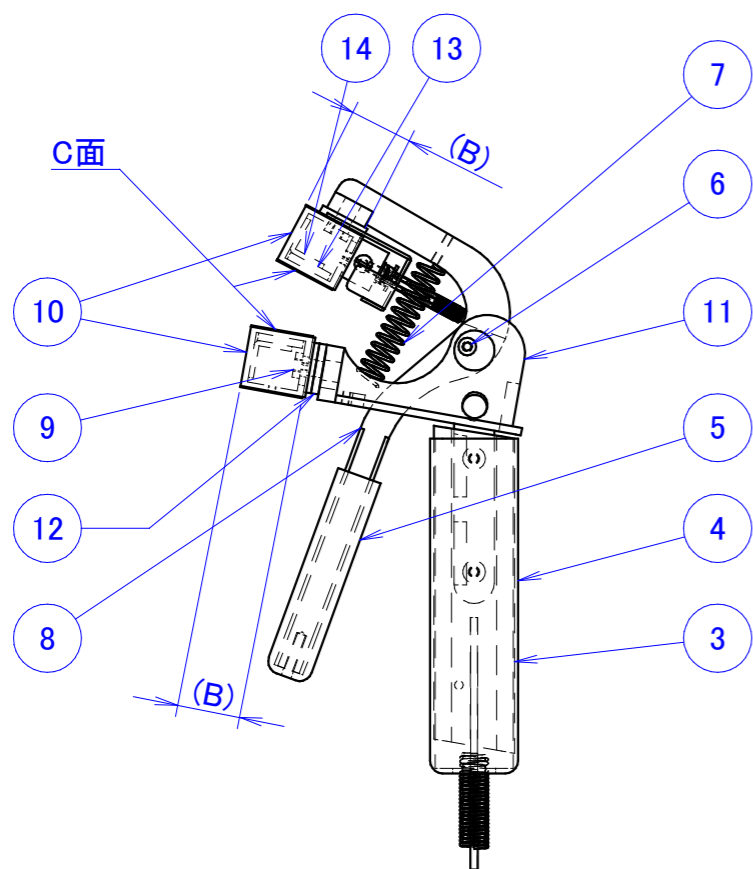
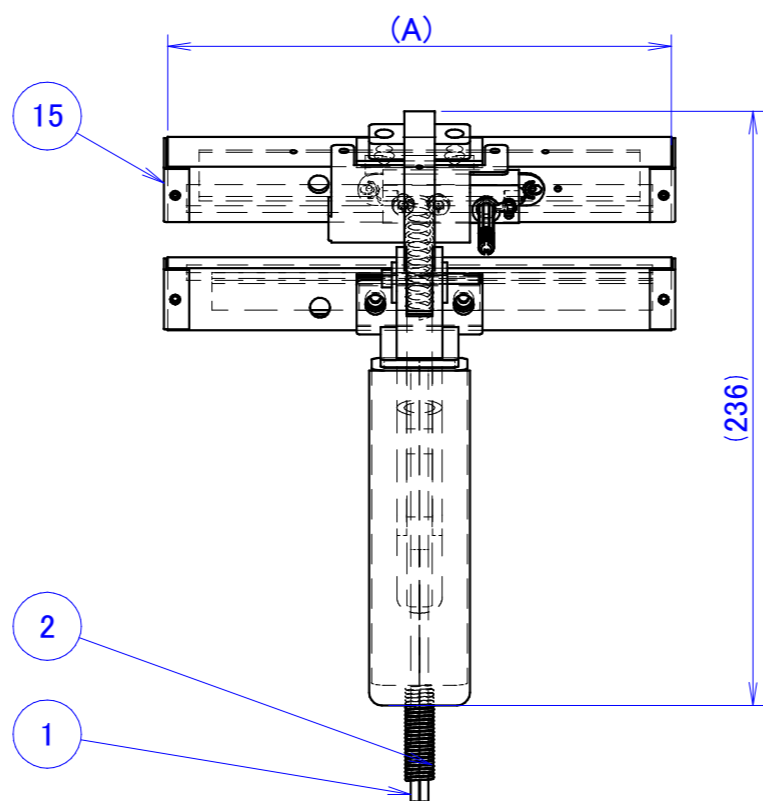
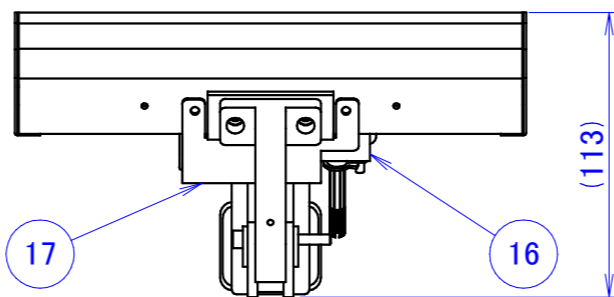
HY - BP ① ② ③ ④ ⑤

例)HY-BP1111C
 熱板長さ : 150mm
 熱板巾 : 25mm
 シール面 : 平目
 電源ケーブル : 2x2HHFF3mP(コマ入)2芯プラグ
 カバー : 有

	① 熱板長さ A寸法	② 熱板巾 B寸法	③ シール面 C面	④ 電源ケーブル 部品1	⑤ カバー 部品27
1	150mm	25mm	平目	2x2HHFF3mP(コマ入)2芯プラグ	有
2	200mm	15mm	横目	2PNCT0.75mm2(2芯)プラグ2P	無
3	250mm	—	軽量	2PNCT0.75mm2(3芯)プラグ3P	記載無
4	300mm	—	—	—	—



カバー付



項番	部品名	材質	数量
28	スペーサー(カバー)	SPCC	4
27	カバー	ガラスエポキシ	2
17	サーモスタッドカバー	SUS304	1
16	サイドカバー	アルミニウム	4
15	サーモスタッド		1
14	ヒーター押さえ	アルミニウム	2
13	ヒーター		2
12	断熱板	ケイ酸系バインダ	2
11	フレーム	アルミニウム	1
10	熱板(上)(下)	アルミニウム	2
9	板ナット	SPC	2
8	アーム	アルミニウム	1
7	開閉(圧縮)スプリング		1
6	ヒンジピン	SUS	1
5	丸グリップ(ニギリカバー)	軟質塩化ビニール	1
4	角グリップ(ニギリカバー)	軟質塩化ビニール	1
3	木製ニギリ	木材	2
2	コード(保護)スプリング		1
1	電源コード		1

1	ハンドシーラー組立図	1		
項番	名称	材質	個数	質量 kg/個
1	ハンドシーラー組立図			

尺度 1:3 SCALE	承認 APPROVED	確認 CHECKED	担当 DESIGNED	工号 JOB No. HY-3PT型バリヤ用
三角法 ⊕ ⊖			オノ 2017/03/22	名称 NAME ハンドシーラー組立図
単位 mm UNIT	株式会社 97キ			図番 DEG No. 1600-A003

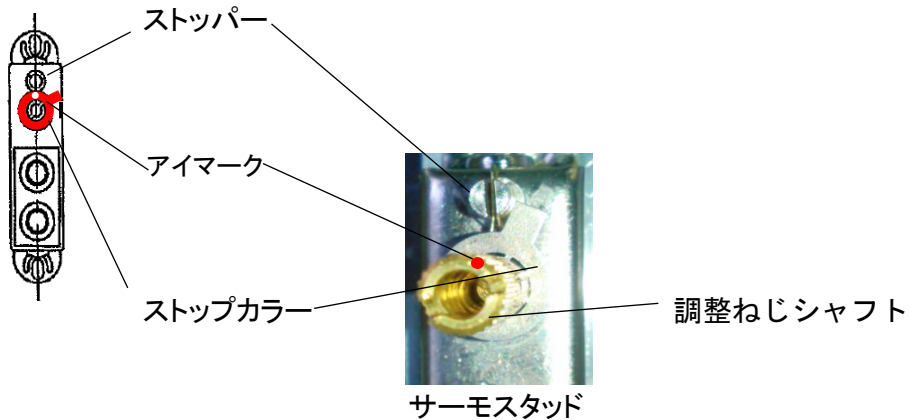
記号 MARK	記事 DESCRIPTIONS	担当 DESIGN	年月日 DATE	図 曆
	訂正	REVISION		

普通公差 mm	0.5~6	6~30	30~120	120~315	315~1000	1000~2000
	±0.1	±0.2	±0.3	±0.5	±0.8	±1.2

2. 温度設定 (サーモスタッド)

プラグをAC100V電源に差し込み、6~7分後に使用して下さい。

2-1 出荷時



温度180℃附近にてヒーターがONする位置にてサーモスタッドを調整致します。
その位置が確認出来る様、ストップカラーのストップパー位置にアイマークを入れます。

※適温は材質・厚みにより違います。

2-2 調整

- ① 圧接温度を変更する時 (材質厚みにより)
 - ② 圧接が正常に行えない時 (温度低下・温度上昇)
- 上記の場合、下記の方法にて調整して下さい。



※調整ねじ(シャフト)をマイナスドライバーで回して行います。
注意事項①熱板の温度を確認しながら行ってください。

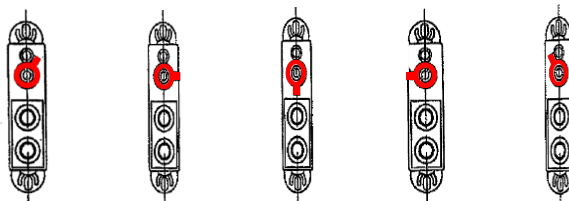
②熱板の温度が長時間190℃以上を超えない様にして下さい。

③温度を上げ過ぎるとグリップを握れなくなり、丸グリップが溶ける場合があります。

③ 調整範囲

ストップカラー ストップカラー ストップカラー ストップカラー ストップカラー

0° 位置 90° 位置 180° 位置 270° 位置 360° 位置



※温度精度±8.3℃

設定温度 (下記設定目安です。熱板部が190℃以上には上げないで下さい。)

	参考値	参考値	参考値	参考値	参考値
ON位置	157℃	194℃	240℃	287℃	325℃
OFF位置	163℃	201℃	246℃	295℃	333℃

← 溶ける

※サーモスタッド定格にて温度が最大330℃程度上がりますので

調整は、熱板温度が長時間190℃以上にならない様にして下さい。

3. 使用方法

AC100V電源投入後6～7分にて180℃前後になりますので使用を開始して下さい。

※ 定格電圧 AC100V 定格消費電力300W 接着部使用温度:180℃

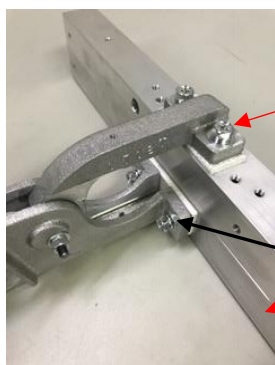


**ニギリグリップ及び先端部がとても熱くなりますので十分に注意して下さい。
手袋での使用を推奨いたします。**

ニギリグリップ以外高温注意

4. 補修

床に強く押し付けたりしますと、熱板がずれて上下熱板のかみ合わせが悪くなり、均一なシールが出来ません。



◎左右ズレがある場合

Aネジを少しゆるめ上熱板をずらして下さい

◎左右どちらか隙間がある場合

Bネジを少しゆるめ下熱板をずらして下さい



◎前後側に隙間がある場合

Bネジをゆるめ下熱板を上方(又は下方)にずらして下さい

左図の場合は下方にずらします。

5. 注意事項

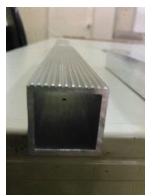
①作業終了後、シール面の付着物を取り除いて下さい。



←平目熱板

テフロン貼の場合は布等で取り除く

テフロン貼でない場合は、ワイヤーブラシ又は
荒目ヤスリ等で取り除く



←横目熱板

ケガキ針又はワイヤーブラシで取り除く



工具店で巾狭専用ブラシを購入して下さい。

※熱板が熱いうちに除去して下さい。

②コードを引っ張らず**必ず**プラグを持って引き抜いて下さい。(修理の原因の多くは断線です。)

③ハンドシーラー使用時、ニギリ以外は**高温**となりますので火傷等にご注意下さい。

また、高温部に電源コード等接触しますと溶けますのでご注意ください。

④ハンドシーラーの修理も承っておりますので、ご依頼下さい。